



課題への向き合い方を考える

山形県中学校長会

副会長 石原敏行(上山市立南中学校)

2011年3月、東日本大震災の当日、私は出張で東京にいました。会議の真っ只中、まもなく私に関係するところの発表が始まる直前に大きな揺れに襲われました。会場を締め出された私は、この後どうすべきか、まずは駅まで歩きながらのんびり考えようと思っていたのですが、駅に着くと全ての電車が止まっていました。その瞬間、このままでは帰れなくなってしまうと思い、とても焦りました。慌てて宿泊できる場所を探したのですが、ホテルどころか、一晩過ごせそうなネットカフェですら営業がストップし、入れるところはありません。カプセルホテルに泊まろうとする列ができていたので並んではみたものの、私の2人前の人で満室となりました。

しっかりと情報を集め、先を見通しながら、迅速に適切な判断をするべきだったと猛省したところでした。

日は次第に暮れはじめ、さあ、どうするか、となった時、大災害があったことを考えれば不謹慎ではあるものの、私はなぜかワクワク感を覚えたのでした。山形に帰ることができるのか、寒空の中どのようにして一晩過ごすのか、という課題が自分ごとになった瞬間でした。

課題に向き合うにあたって、どのような気持ちで向き合うのか、それはとても大切なことだと思います。負担感(取り組みたくない、かわりたくない)を伴う感情で向き合うのか、それとも、解決した時の達成感を想像してワクワクするのか、これは授業において子どもたちが課題に向き合う時にも、我々大人が様々な課題に向き合う時にも共通するものがあると感じています。解決困難な課題ほど、これが解決できればすごいぞ!と、努めて自分に言い聞かせることは一定の効果があるのではないのでしょうか。

変化の激しい時代において、最も重要な資質の

一つは「課題解決力」であると痛感しています。これからの社会では、単に知識を詰め込むだけでなく、それをもとに課題を見つけ、自ら考え、行動する力が求められていることは言うまでもありません。

この「課題解決力」は、単に問題を解決するための手段ではなく、自ら学びを深め、新しい価値を創造していくための基盤でもあります。この力を育むためには、教科の枠を超えた学びや、実社会とのつながりを重視した学習体験が大切になってきます。しかし、それ以前に、先に述べたようにどのような姿勢で課題に向き合うのかということについては、大切にしていきたいものです。

もちろん、どうしたらいいのか、見通しも立たない難しい課題であったり、確かなゴールのないものであったり、状況は様々です。答えが一つに決まらないことであったり、解決方法も多種多様であったりすることがこれからの社会ではさらに増えていくでしょう。

そのようなときに、先に述べたような姿勢で課題に向き合うためには、「情報を収集・整理すること」や「仲間とのコミュニケーション」が鍵になっていると感じています。私もこれまで様々な課題と向き合い、うまく解決できたこともあれば、もっと違ったやり方をしていればよかったと後悔したこともあるのですが、うまく解決できたときほど、一人で抱え込まず、仲間の力を借りながら、課題の解決にあたっていったこと、特に、想定以上のたくさんの方々にかかわっていただいたときほど、満足のいく解決ができたと振り返っているところです。

引き続き、課題解決に向けたワクワク感が持てるよう努めるとともに、職場の先生方においても一人で抱え込まずに、楽しみながら課題に向き合えるよう働きかけていきたいものです。

令和6年度 第78回山形県中学校長会研究協議会

第78回山形県中学校長会研究協議会が6月21日(金)、研究主題「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を形成していく日本人を育てる中学校教育」のもと開催された。今年度は、ヒルズサンピア山形にて参集型での1日開催となった。

研究発表

【学校経営】

研究主題 教師を育てる学校経営手法の研究(2年次)

発表者 最上地区中学校長会
高橋 晋也(最上町立最上中学校)

実践の概要

- (1) プロジェクトチームによる組織の活性化
- (2) 多様な「かかわりの束」をつくる場づくり
- (3) 学校版セルフ・キャリアドック的思考



【生徒指導】

研究主題 社会の変化に対応する生徒指導の推進と校長としての関わり
～これからの生徒指導を推進する事例の共有と協議を通して～(4年次)

発表者 山形地区中学校長会
山田 博志(山形市立金井中学校)

実践の概要

- (1) 定例校長会での生徒指導の情報共有と協議
- (2) ミドルリーダー育成のための生徒指導主事等研修会
- (3) 山形市生徒指導四者連絡協議会の実施



【学習指導】

研究主題 確かな学力の育成を図る学校経営のあり方
～今日的課題の解決に向けた共通実践を通して～
(2年次)

発表者 西置賜地区中学校長会
石塚 良文(白鷹町立白鷹中学校)

実践の概要

- (1) アンケートの実施と研修
- (2) 「研究の視点」に沿った各校の実践
- (3) 全国平均に対して、地区共通で課題となる項目について



グループ協議・情報交換会

- ・15グループに分かれ、研究発表や喫緊の課題についての協議や情報交換等

第3回理事会議報告

今年度の第3回理事会が、去る11月22日(金)山形国際交流プラザ ビッグウィングにおいて開催され、これまでの活動等の報告や今後に向けての話し合いが行われた。情報交換では、「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」からの報告や喫緊の課題等について話し合われた。

I 令和7年度の研究担当地区の確認

研究要項会誌掲載年度	研究担当地区	研究発表年度
令和6年	学校経営Aブロック(田川地区担当) 生徒指導Bブロック(米沢地区担当) 学習指導Cブロック(西村山地区担当)	令和7年

II 第75回東北地区中学校長会研究協議会山形大会 兼 第79回山形県中学校長会研究協議会

1 大会主題 「豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手を育てる中学校教育」

2 期 日 令和7年7月3日(木)～4日(金)

3 会 場 全体会 やまぎん県民ホール
分科会 ホテルメトロポリタンやまがた、山形国際ホテル

4 日 程

【7月3日(木)大会1日目】 会場：やまぎん県民ホール

11:30 12:20 12:50 13:20 13:30 14:20 15:10 15:25 16:45 18:00 20:00

分科会 運営委員 受付	理 事 会 やまぎん県民ホール スタジオ		開 会 式 理事会報告 宣言・決議	全日中 報 告	休 憩	講 演	各県情報交換会 6会場
	分科会運営委員会 やまぎん県民ホール スタジオ						
	一 般 会 員 受 付		やまぎん県民ホール 大ホール				

【7月4日(金)大会2日目】 会場：ホテルメトロポリタン・山形国際ホテル

9:30 10:00 11:50 12:00

受 付	研究協議会 分科会 ホテルメトロポリタン 山形国際ホテル	会場ごと閉会
--------	------------------------------------	--------

III 令和6年度 教育課程編成・実施に関する調査結果

研究推進委員会では、今年度も教育課程編成・実施に関する調査を行い、その結果を第3回理事会で報告した。今年度の調査を行うにあたっては、回答を各校の端末等から直接入力する方法をとったが、今後よりよい調査となるよう検討する。なお、この調査の結果は、年度末発行の「会誌」に掲載し、各校で特色ある教育課程を編成する際の参考となるようにする予定である。

令和6年度 全日中第2回理事会・研究協議会報告(10月16日)

1 会長挨拶

2 報告事項

- (1) 常任理事会の報告
- (2) 各部・各委員会より報告(会報78号)
- (3) 令和6年度一般会計収支計算報告書、会員数・会費納入状況、基金収納状況
- (4) 各地区中学校長会活動状況報告(全地区・会報78号)
- (5) 第75回全日本中学校長会研究協議会 岩手大会 文科省説明依頼事項
- (6) 令和6年度文教関係立法・予算措置等要望及び陳情活動
- (7) 令和6年度中学校教育に関する調査まとめ等
- (8) 「令和6年度 各都道府県・政令指定都市人事委員会の勧告概要」及び「令和7年度給与等に関する要望の概要」調査

3 協議事項

- (1) 第75回全日本中学校長会研究協議会岩手大会「宣言・決議(案)」
- (2) 第76回全日本中学校長会研究協議会香川大会「実施要項(案)」
- (3) 第77回全日本中学校長会研究協議会長野大会「実施要項(案)」
- (4) 総会関係等について
 - ① 令和7年度「宣言・決議(案)」 「全日中活動方針(案)」
 - ② 令和7年度 全日本中学校長会一般会計予算(第一次案)
- (5) 全日中諸会合の在り方 令和8年度以降の総会日程案について
- (6) 第77回全日本中学校長会研究協議会長野大会研究協議会主題及び分科会研究題(案)
- (7) 令和8年度用文教関係立法・予算措置等要望調査
- (8) 令和7年度全日本中学校長会関係会合日程年間行事予定

4 連絡事項

- (1) 令和7年度機関誌「中学校」執筆依頼予定
 - ・山形県：6月「校長会だより」(編集担当幹事)、令和7年2月「郷土芸文の旅」(西村山)

5 情報交換「部活動の地域移行に向けた取組と課題 ～各地区・各学校における取組を踏まえて～」

【各県の情報から】

- ・各市町村や地区、競技によって差が大きくなっている(自治体の取組に差が出ている)。
- ・文化部、特に吹奏楽部について、楽器の保管場所や輸送の関係から扱いが難しい。
- ・中体連の大会への参加や運営の在り方について、地域移行を踏まえてさらに検討が必要である。
- ・合同チームの活動については、生徒の送迎が保護者の負担になっている。
- ・学校の部活動、地域クラブのどちらも中体連に参加できるため、生徒の人間関係に課題が生じる。
(山形県からの報告 ※令和5年度山形県部活動改革推進協議会における議事内容を中心に報告)
- ・県教委による、部活動ガイドラインの周知、取組への指導・助言について
- ・中学校における部活動改革進捗状況について
- ・市町村における実証事業の取組事例の紹介
- ・これまでの成果と課題、今後の方向性について

全日中岩手大会及び、山形県情報交換会への御参加、ありがとうございました。様々な改革が求められる中、県内各地の先生方との貴重な情報交換の場となりました。